

## 久美浜病院改革プラン

### 「公立病院として今後果たすべき役割」

#### 1. 地域医療と在宅医療の確保（地域包括医療・ケアの推進）

##### ① 地域包括医療・ケアの推進

病院の役割として、医療のみではなく地域住民の疾病予防活動にも関与し、さらに介護を要する住民に対して介護支援も行なう、即ち、医療と疾病予防活動と介護をシームレスに連携して行う地域包括医療・ケアを行なう。

地域包括医療・ケアにより住民の健康度の向上が図られ、ひいては医療費の抑制の効果ももたらされ真に住民の求めるものとなる。

##### ② 亜急性期病床の導入（5床）

一般病床での急性期治療が終わり退院するにあたり一定の医療提供が必要な患者の治療病床として慢性期医療との中間的病床として亜急性期病床の導入が望まれる。

##### \* 経営効果

$20,500円 \times 5床 \times 365日 = 37,412,500円$  年間収入増

$37,412,500円 \times 60\% = 22,447,500円$  平均60%可動の場合

##### ③ 在宅医療の支援、確保

病院での医療提供の終わった患者への在宅支援策として訪問診療、訪問看護、通所リハビリの継続発展が望まれる。

以上の方向性は、現在、国の在宅医療重視の方針とも一致しており今後の公立病院のはたすべき重要課題であると考えている。

#### 2. 小児救急を含む救急医療の確保

救急医療は医療の原点でもあり基本となるものと考えている。

地域医療として欠くことのできない救急医療に積極的に取り組み公立病院として小児救急についても堅持する。

##### \* 平成19年度救急実績

京丹後市消防署救急搬送受入率 506人（23.3%）

救急受入件数 7,040人 うち小児科3,926（55.7%）

#### 3. 予防医療の提供

##### ① 疾病予防活動

疾病予防活動として各種健康講座、特定検診を含む住民検診、人間ドック、脳ドック、

乳幼児健診、歯科検診、産業医、校医等住民の健康増進に積極的に関与し実施する。

② 介護予防活動

介護予防活動として訪問診療、訪問リハビリ、訪問看護、通所リハビリさらに、口腔ケア等幅広く対応する。

住民にとって予防活動は最も望まれる重要なものであり堅持する。

4. 政策的医療の提供

民間医療機関が推進しない地域に真に必要な不採算医療を推進する。